



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 年度

広島北ロータリークラブ週報

2011年10月27日発行 Vol. 1291

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー氏
国際ロータリーテーマ
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

■会長 高原 宏之 ■幹事 栗屋 充博
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会場 ホテルグランヴィア広島 広島市南区松原町 1-5

■本日の例会 2011年10月27日(木) 第2062回
ロータリーソング 「それでこそロータリー」
来客紹介 ロータリー家族親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会報告
ニコニコ箱
卓話時間 コカ・コーラウエスト
レッドスパークス 監督
柳 承辰 様
『チームスポーツと組織』

前回例会報告 2011年10月20日(木) 第2061回

ロータリーソング 「手に手つないで」
来客紹介 ロータリー家族親睦委員会
地区大会表彰
米山寄付表彰
会長時間
幹事報告
委員会報告
ニコニコ箱
職場訪問 米山奨学生 車 智任さん
『日本・韓国の教育方法について』

シリーズ 新会員をもっと知ろう

中村 満治 会員 (8月4日入会)



この度、大之木雄次郎様、鵜飼興治様のご推薦により入会させて頂くことになりました中村満治でございます。簡単に自己紹介をさせていただきます。
生まれは、下関市彦島ですが、生まれて直ぐに広島市に移りました。広島市にも5歳くらいまで住んだだけで、親の転勤に伴い関東に移り、小、中、高、大と学業に励み？現在の(株)NIPPOに入社致しました。入社してからは、親の因果がと言うことではない

のでしょうが、若手のころは、北は東北から南は沖縄まで仕事を追いかけて駆けずり回っておりました。当時としては奥手の30歳でどうか結婚し、妻一人、娘一人の3人家族です。
娘は高校のころから米国へ行ってしまい、今はカミさんと二人暮らしです。趣味は、現在のところゴルフ、お酒、しかなく退職後を心配しております。
仕事では転勤が多かったものの、私生活では、海外旅行を楽しんだりしてカミさん孝行はしておりました。今回の広島勤務でもカミさんを同行して、ゴルフ三昧(カミさんの)につき合っております。やはり恐妻家でしょうか？いずれにしても、右も左もわからない広島でございます。
会員の皆様のご指導を頂きながらロータリークラブの奉仕の精神を勉強するとともに、沢山の方々の知己を得て、心に残る広島勤務と致したく願っております。よろしくお願い致します。

地区大会表彰

10月15日・16日に開催されました地区大会においてクラブと個人に対しての表彰が行われました。

●クラブ表彰
2010-11年度 RI会長賞



2010-11年度年間出席100%達成クラブ賞





前年度会長・石田会員と副会長・山田会員に渡し、披露しました。

● 個人表彰（永年連続出席者）



42年 岸本秀夫 会員 40年 山本忠男 会員
40年 吾郷地久男 会員 35年 久永 洪 会員
おめでとうございます！

会長時間 会長 高原 宏之

今週の会長時間を地区大会の報告にあてます。
10月15日(土)午後。地区大会第一日が柳井クルーズホテルで開催され、私と栗屋幹事とで出席しました。
この大会は田村ガバナーが挨拶の中で述べられましたように「東日本の大震災復興支援の地区大会」と位置づけられました。
田村ガバナーは「人類が今まで経験したことのないほど大きな地震が発生し、津波による広範囲で甚大な被害を受けています。加えて福島原子力発電所が大きな事故を引き起こし、被害は尚一層複雑なものになっています。」とされ、続いて私達に課せられた使命についても言及されました。
「被災地区の復興のために私たちは今まで学んできた英知のすべてを結集して当たらなければなりません。ロータリーで作り上げ学んできたことは、このようなときに発揮される必要があります。被災地区のロータリアンと共に世界中のロータリアンが立ち上がっています。私たちの地区も同じ思いで力を合わせていきたいと思えます」と述べられ、その熱意を感じ取ることが出来ました。
RI会長代理にはアメリカ、イリノイ州のシャンペンRCから郡司健バスターガバナーの来訪があり、アメリカのロータリーについて幅広い解説がありました。
又、翌日の本会議の講評では、「ロータリアンの詩」を紹介されました。その詩に大変感銘を受けました。いずれかの機会を捉えて近日中に発表します。
続いて、クラブ表彰ではRI会長賞と併せて連続出席100%に対して栄誉あるクラブ表彰を頂きました。
第一日目の基調講演では、東京恵比寿ロータリークラブの榊原節子さまの基調講演は国際奉仕の「素晴らしい体験 一奉仕のノウハウと

問題点」と題してネパールプロジェクトについての講演があり、この結果はバーミンガムの国際大会でも報告され、世界から賞賛を浴びておられます。又、当日は、国際奉仕の抱える数々の問題点についても指摘されました。

その後、RI代理夫妻歓迎晩餐会に栗屋幹事と共に出席し、乾杯の後、その席を中座し、神農R家族親睦委員長によって企画されたホテル大観荘でのインフォーマルテイングに出席し、前泊組の皆さんと、時間の経つのを忘れ、親睦を深める大変楽しい一夜を送ったことも楽しい思い出になりました。

第二日目の本会議ではサンビームやないに会場を移し、国歌斉唱に続き米国国家並びに韓国国家斉唱、ガバナー挨拶が行われ、山口県知事二井開成様、柳井市長様、柳井商工会議所会頭藤麻功様の来賓祝辞の後、RI3690地区ガバナー 安 燕珍氏の挨拶と昨日同様、RI会長代理 郡司 健氏の挨拶が行われました。

さらに、田村泰三ガバナー地区概況報告がなされ、大会実行委員長斎藤修一氏から記念事業として柳井市に緊急避難時や雨天対策各種イベントの仮設会場としても利用できる多目的大型テント「エアロシェルターⅡ型」の寄贈の発表があり、その目録贈呈に対して、柳井市長から謝辞並びに感謝状の贈呈をしていただきました。

午後からの記念講演では講師 元岩手県知事、元総務大臣 増田寛也氏の演題「新たな国づくりに向けてー東日本大震災を経験してー」が行われ心に残る講演でした。

米山奨学生の車智任さん、GSE派遣メンバーの山口亜由美さん、受け入れのイアン・ラドウィック君の紹介に続いて2012年度ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの紹介の後、呉での次年度地区大会開催の案内があり、呉での次年度地区大会に会することを期して閉会となりました。

最後になりましたが、当クラブから参加頂いた会員の皆様に心から厚く御礼を申し上げ、地区大会の報告といたします。



大会1日目 クラブ表彰を受ける高原会長

幹事報告 幹事 栗屋 充博

- * 10/2にご逝去されました北田和廣 元会員の「お別れの会」の日程が決まりましたので、お知らせいたします。
11月7日(月)13時～ 会場:ホテルグランヴィア広島
- * 地区大会のお礼状を頂いております。
- * 11月に開催されるRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)には当クラブからは石井会員と石井会員のご子息に参加頂くことになりました。
- * 本日の例会は100万\$の食事となっております。差額は米山記念奨学会に寄付をさせていただきます。
- * 三原RCと三次RCから創立50周年記念誌を頂きました。

委員会報告

- ロータリー財団常任委員会 庄子常任委員長
寄付御礼など
- 職業奉仕委員会 丸本委員長
職場訪問参加の御礼など

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【外部出宝】

広島生活習慣病・がん健診センター センター長の山名征三様より、職場訪問の御礼を「この御礼は貴クラブのニコニコ箱に寄付させていただきます」とのことでお預かりいたしました。

【自主出宝】

高原会員・大之木会員・栗屋会員・岡部会員・合田会員

車さん、今日は卓話を楽しみにしております。

中根会員 本日は、車さんに卓話の機会を与えて頂き、ありがとうございます。

高原会員・大之木会員・栗屋会員 去る16日の地区大会には多くの会員の皆様にご参加頂き、ありがとうございました。楽しい前夜祭を企画して頂いた神農親睦委員長、前夜祭においておいしいハマチと鯛を提供いただいた増田釣鯛会会長にもお礼を申し上げます。地区大会に参加して当クラブの素晴らしさを改めて感じました。皆様に感謝！

丸本会員・鶴飼会員 前回の例会では高原会長の勤務先の「広島生活習慣病・がん健診センター」にて職場訪問を行い多数の会員に参加して頂き、誠にありがとうございました。

山本(忠)会員 地区大会にて連続出席40年の記念表彰状を頂きました。感謝です。これからもがんばります。

吾郷会員 地区大会には出席出来ませんでしたが、連続出席40年の表彰、ありがとうございました。

久永会員 連続出席35年表彰ありがとうございます。これからもよろしく願い致します。

岩森会員 先日の家族会楽しく過ごさせて頂きました。30年振りかの太公望!! 小鮎にしっかりと餌を与えてやりました。至福の時間でした。

高原会員 先日、海田町福祉センターで、婦人科ガン健診の受診者の内、5名の方が、府中町の小生の診療所で出産に立ち会った方でした。心より喜んでます。

榎殿会員 迫さん、広島経済レポートによりますとネストロジスティクスは3年以内に北関東～東北に5拠点を設ける「東日本計画」をスタートさせたそうですね。おめでとうございます。

迫会員 ご紹介ありがとうございました。

島田会員 本日卓話をして頂く車(チャ)さんをずっとシャさんだと思い込んでいました。何度か同じ席にご一緒させて頂いた事もありましたのに大変失礼致しました。

下前会員 本日早退します。

当日計 35,000 円(内、web8,000 円) 累計 426,000 円

★=10,000 円 ☆=5,000 円 ◇=3,000 円 ◆=2,000 円

卓話

米山奨学生 車 智任さん

『日本・韓国の教育方法について』



奨学生の車 智任です。今日は、皆さんに私のことについて少し話させて頂きたいと思います。一応、簡単に私のことを話します。私は韓国のデグ市から参りました。デグといえば、今年夏世界陸上競技が行われた都市です。盆地の地形で夏は蒸し暑く、冬は寒い気温で有名な町です。昔はりんごの生産地で有名でしたが、温暖化が始まってから

りんごの町とも言えないです。デグのもうひとつの特徴は美人の町でも有名です。いつか韓国にいらっしやる機会がある方はぜひ確かめてください。

中学生頃始めて見た映画ラブレターのロケ地、北海道に憧れ、それから日本に興味を持ち、大学でも日本学を選び、その映画がここまでの私の人生を引っ張ってくれました。けれどとても残念ですが、まだ北海道には行ったことがありません。

今、専攻としている国際政治学の中では比較政治を勉強させて頂いていますが、その中でもマスコミの事を中心に勉強しています。今学期が最後で最近では修士論文のことや就職のことで精一杯です。ここまで私の紹介は終わらせていただいて、これから私が用意した話を続けたいと思います。

今日は日本と韓国の教育方法について比較などをしながら話させて頂いていただきたいと思います。

しかし前もって言いますが、これからの話はあくまでも私の個人的な感じですので、御承知をお願いいたします。

私が日本に来てから、いつも周りの方から聞かれることがひとつあります。それは韓国人なら英語も出来るでしょう？ということです。

韓国人の高い英語レベルは世界的な評判となっていますが、私はその質問にいつも困ります。私は英語なんて全然出来ません。

高校卒業後からずっと日本語一筋でしたので、もう英語はバカです。しかし、確かに韓国にいる友達みんな英語検定資格は誰でも一つ以上は持っています。

また逆に韓国の友達からいつも言われることが「あなたはもう日本語は十分出来るから、英語だけ出来れば、トップの会社に入れるよ！」という言葉です。という事で私も不安の気持ちで結局、今年から英語の勉強を始めました。

皆さんは「幸せは成績順じゃないでしょう？」という言葉も聞いたことがありますか？この言葉は韓国の人たちの間、冗談半分よく話しをする言葉です。それほど韓国は見える成績にとっても拘る習慣があります。

もちろん日本も受験社会で1位から最後まで順番が付けられますが、韓国ほどは厳しくはないと思います。韓国は何でも1位を目指します。そもそも自然資源がない国のため、世界的競争力を持つことは頭しかないと思って、生き残るためには頭、つまり勉強というイメージが強く認識されたと思います。

それでは、まずは韓国の高校教育方法を見てもらいたいと思います。皆さんに配られた紙に世界の各高校のタイムテーブルがあります。

皆さんはこの表をご覧になって、何か不思議な点を見つけられましたか？そうです、韓国のタイムテーブルの10時限を見て、あれ～これは何？って思われませんか？私が高校卒業してからもう7年ぐらい経っていますが、その当時と今の教育状況はあまり変わりませんでした。

私が高校に通っていた時も1年はより自由な生活でしたが、2年に上がってからは朝から晩まで学校に居た記憶しかありません。しかも本格的な受験が始まる3年生の時は朝7時まで登校し、夜11時まで学校で勉強しました。でもここで一日が終わるわけではありません。11時に学校から出て、それから自習室という個人勉強ができる所に行って深夜1時～2時まで居る生活を続けました。

じゃあ～いつ寝るの？と聞かれるかも知れません。確か毎日こんな生活パターンだったら、きっと倒れます。授業と授業の間に寝たり、週末に少し寝坊をしたりしながら、足りない睡眠を補います。

また3年生は何でも許される雰囲気です。親もとても大事にお世話をしてくれるし、栄養補充にとっても力を入れてくれます。韓国の高校3年生は大体丸々体型に変わります。

美味しいもの、栄養たっぷりものをいっぱい食べさせてもらうのに、全然動かない生活ですからみんな太ります。いつも高校の時、先生と親から励まし言葉で言われることが、大学に行ったら素敵な彼氏や彼女もできるし、すぐ痩せるよと言われますが、現実とはとても違いました。

私が日本の高校生たちを見ながら一番うらやましいと思ったのはクラブ活動です。町でもよく運動器具や楽器などを持って通って

いる学生たちを見かけますが、勉強だけじゃなく、その時期ならではの自由なクラブ生活を楽しんでいる日本の学生がとてもうらやましかったです。韓国のタイムテーブルの中に確か体育授業はあります。それが1年生は週2-3回ぐらいだった授業が3年になると1回に減らされます。その1回の授業もたまには自習時間に変えられる時もありました。

今振りかえって見ると、私の高校時代は家よりも学校が家みたいな感じでした。けれども、日本の学生は学校が終わってもクラブ活動をしたり運動にも頑張ったりする姿がとてもうらやましく感じられます。

少し話をかえて大学の話を続けたいと思います。何週間か前テレビで非常に面白いテーマの放送を見る機会がありました。日・韓・中の各分野で活躍しているゲストたちが出て各国のことに自由について自由に話をする番組でした。私が見た週は各国の大学教育に関するテーマでした。そこで東京大学院を出て現在東海大学で准教授で在任している韓国出身の先生がおっしゃったことが私もすごく同感する事がありまして、今日少し話させていたきたいです。

彼女が最初は日本のゆとり教育法の問題点に対して厳しい批判の言葉も言いましたが、最後に彼女はこうに言いました。「純粋な学問を追究するなら日本の大学へ行くべき」という事でした。なぜ私がこの言葉に同感したかを今から話したいのですが、まず韓国の出身である私も日韓の教育方法に触れたのでいつも両国を比べる癖があります。まず、私が個人的に感じた事から始めると、韓国の大学はゼミという概念がありません。大体教養の授業みたいな大人数の授業が多く、その中でも先生の講義よりは共同プロジェクトの発表が多かった記憶があります。各組みが準備した発表を毎回続けながら、たまに先生の補充説明を受けるぐらいで学期が終わりました。先生はその授業で個人個人の発表能力、資料の深さなどを参考にして成績をつけました。もちろん各組みの中では積極的に参加する学生も居る反面、全然参加しない学生もいました。意見の違いでけんかになる組も多かったです。学生により参加度が違うのに同じ組み扱いで結局、同じ単位をもらうことでけんかする場合があります。もちろん共同プロジェクトを通じて勉強できることもいっぱいありますが、最大の問題点は時間が経ってからその内容が頭にあまり残らないことです。ここまでが韓国の大学の主な授業方法と言えますが、日本の大学の特徴はゼミの授業があることです。私は最初に小人数ですごく自由に自分の意見を話せる雰囲気になんか圧倒されました。ただ一言ではなく、何でも周りの目は気にせず積極的に話す雰囲気の授業は韓国では一度もなかった経験でした。確か、お互いに意見を話し合う方がなんだか長く頭の中に残る気がしました。

最初の話に戻って、韓国の先生が言いました純粋な学問の追究についてですが、韓国は長い慣習である一位目指しが大学教育にもそのまま反映されていると思います。

日本の大学は競争は関係なく、自分が興味ある分野を真剣に探求していく教育方法だと思います。しかも韓国はずいぶん前から厳しい就職難で大学1年から各資格書の勉強や英語ばかり勉強している学生が多いです。学校の単位はある程度だけ勉強してほかの時間は全部就職の勉強に使う雰囲気になりました。

しかし、日本は韓国ほどではないです。まだまだ自分がやりたい分野に対して楽しみながら勉強をしていると思います。あまり競争心をあおらない雰囲気の中で真の学問が生み出されると思います。去年のノーベル賞も日本で2人の方が賞を受けた事を見ても今の話とつながると思います。けれど、このように世界的な学者たちを輩出した日本も問題点がありました。今は廃止されていますが、まだその残りがあるゆとり教育の問題です。幼い頃から競争になれて育てられた韓国の学生はより競争に強いです。しかし日本は大学の卒業が近づいてからやっと競争を経験します。そこでうまく競争の波に乗る学生もいるし、乗れない学生もいることが社会

問題につながっています。フリータやニートの言葉がここから生まれたと思います。韓国の先生が指摘したうち向け教育の問題点もこのような競争力に対することでした。しかし日本は教育に関してはもっと丁寧に専門的な教育方法を取っていることは間違いありません。このように日本と韓国は近い国として似ている所も多い反面、違う面も多いです。この差は確か韓国と日本の社会と経済の環境と動きの違いからだと思います。各自国の状況に合わせた教育方法を取っているだけだと思います。ですからどちらが正しいか正しくないかは関係ないと思います。

現在日本で大学院に通っている私にとってはその比較番組の内容が非常に面白く聞こえてきて、本日の話の主なテーマとして取り上げて見ました。以上で話を終わらせていただきたいと思います。ご静聴本当にありがとうございます。

地区大会報告

開催日:2011年10月16日(日)

場 所:サンビーム柳井 (山口県柳井市)

参加者:高原、大之木、粟屋、石田、久保(雅)、河本、水野、中尾、庄子、山下(正)、中村、土井、合田、畑、岡部、神農、迫坪内、山坂、山内、石井、榎殿、増田、丸本、小河、鈴木中根、佐々木 (敬称略)



RI会長代理 郡司 健氏
(RI第6490地区PG)



記念講演 元岩手県知事
増田 寛也氏

※内容は会長時間をご覧ください。

■出席報告 出席委員会

2011年10月20日(木) 会員総数82名

出席 64名 欠席 18名

10/6例会M-up 後出席率 100%

■次回例会ご案内 2011年11月10日(木) 第2063回

食事 幕の内

卓話 新会員卓話「自己紹介」

濱本 寿利 会員

中村 満治 会員

前田 至法 会員